



153

# この記事がすごい！ 毎日新聞今週のこだわり4本

2023年4月9日号

編集／毎日新聞社カスタマーリレーション本部



迫る

## 「レジェンド」羽生善治さんの挑戦

9日(日)=1、3面

「平成将棋界のレジェンド」と呼ばれる羽生善治九段＝写真＝のこれまでの成績は、歴代トップとなるタイトル通算獲得99期という輝かしいものです。一方、2021年度は勝率が4割を割り込むなど、低迷してしまいました。

しかし、逆境をはねの

け、22年秋に行われた第72期ALSOK王将戦リーグでは勝ち続け、挑戦権を獲得しました。対戦相手は、若き王者、藤井聡太王将(20)。「新旧王者対決」「32歳差の対局」などが話題になり、多くの将棋ファンの目を引き付けました。

藤井さんとの七番勝負

では、羽生さんは2勝したものの、敗れてしまいました。それでも羽生さんは「楽しかった」と感想を述べたのです。その理由とは？

羽生さんは現在、52歳。年齢を重ねることに、どんな気持ちでいるのでしょうか。挑戦をやめない棋士の心境に迫ります。

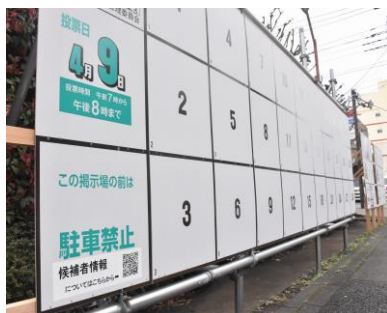


## 統一地方選 前半戦スタート

10日(月)=1、2、3面

9日の統一地方選＝写真＝第1ラウンドは9知事選、6政令市長選、41道府県議選・17政令市議選が投開票されます。人口減少など地域の課題に加え、岸田政権の物価高対策や少子化対策、防衛力強

化策、世界平和統一家庭連合(旧統一教会)問題などが主な争点に。注目の奈良県知事選など、統一選の結果は、岸田文雄首相の衆院解散戦略にも影響を与える可能性があります。



核弾頭を装備できる巡航ミサイル「トマホーク」を搭載した米海軍戦艦=1986年本社ヘリから



## トマホーク導入の背景

政府は昨年末、相手国のミサイル発射拠点などをたたく「反撃能力」(敵基地攻撃能力)の保有を決定し、その手段の一つとして、米国製巡航ミサイル「トマホーク」の導入を決めました。不透明だった導入決定の背景を探ると、

この約2年前から、政府内でミサイルの種類まで本格的に議論を始めていたことがわかりました。そこでは、導入を推進する「米国製派」と反対する「国産派」が、鋭く対立していたことが見えてきました。

11日(火) 1、3面

## 特集ワイド

### 元AKB48 板野友美さんのセカンドキャリア

11日(火)=夕刊特集ワイド

アイドルグループ「AKB48」を卒業した板野友美さん＝写真＝は、タレント活動を続ける一方、WBCでも活躍したプロ野球ヤクルトの高橋奎二投手の妻であり、母という顔もあります。さらに

現在は、洋服などを手がけるブランドの経営者となっています。「女性が結婚や育児で生き方の選択を迫られる社会を変えたい」との信念を聞きました。



突然ですが、4月2日が「週刊誌の日」ってご存じですか？ 101年前のこの日、サンデー毎日と週刊朝日が同時に発行されたことが由来だそうです。そこで、ライバル誌の両編集長の週刊誌の現在を語ってもらうオンラインイベントを18日午後7時から開催します。ぜひご覧ください。(坂井友子)



## 竹橋の窓辺から

編集後記

東京本社編集局から異動してきました。よろしくお願ひ致します。

